

とどろき

田検小学校だより
令和3年5月27日(木)
宇検村立田検小学校

「あいさつで 心の花をさかせよう」

校長 平山 晋

私は毎朝正門に立ち、登校してくる子ども一人一人とあいさつを交わしています。新型コロナウイルス感染症対策で直接触れることができないのでエアータッチ（空中でのハイタッチ）もしています。元気な子どもたちとあいさつを交わすと、とても気持ちが良くなり、思わず笑顔になります。

小学生ばかりではありません。自転車に乗って登校している中学生も、自分から元気よくあいさつをしてくれ、笑顔で通り過ぎていきます。車や徒歩、自転車で正門前を通り過ぎる方々にもあいさつをするのですが、ほとんどの方が頭を下げたり手を挙げたりして、ごく自然にあいさつを返してくださいます。学校はもちろんのこと、地域にもあいさつが飛び交う雰囲気があるのがとても素晴らしいと毎朝感じています。

今回の標題に使った言葉は、正門の横に立っている看板に書かれています。10年ほど前に立てられた当時4年生だった児童の考えた標語です。田検小学校では、ずっと以前からあいさつ運動に取り組んできたことが分かりますし、あいさつの伝統が今も引き継がれています。

では、なぜあいさつを交わすと気持ち良く感じるのでしょうか。それは、お互いの存在を認め合えたと感じることができるからだと思います。「あなたに会えて良かった。」「あなたがいてくれて嬉しい。」といった気持ちであいさつをする。それに対して相手も同じ気持ちであいさつを返してくれることで、お互いの存在を認め合えたことを感じ取ることができ、喜びが生まれるのではないのでしょうか。一方、あいさつをしない、あるいは相手があいさつを返してくれないと、自分の存在を否定されたように感じて、気持ちが沈んでしまうのではないのでしょうか。（このことは、お互いがあいさつを交わしているときにはあまり感じませんが、あいさつを返してもらえなかったときには強く感じるのだと思います。）このことから、家庭内においても、どんなに親しい間柄においても、あいさつは大切だということが分かります。朝だけではなく、いろいろな場面で、お互いの存在を喜び合ってあいさつを交わしたら、きっと素晴らしい家庭、交友関係が築けると思います。

先日、「上級生が立ち止まって姿勢を正し丁寧にあいさつをしてくれるのでとても気持ちが良い。」という話を、全校朝会でしました。すると、中・低学年の中にも立ち止まってあいさつをしてくれる子が出てきました。なんと素直な子たちでしょう。こんな子たちと会えるのを楽しみにしながら、毎朝正門に立っています。

6月の行事予定

- 1日(火) 心の教育の日・安全点検・委員会
校内人権週間(～4日)
- 2日(水) よい歯教室(中)
- 3日(木) 耳鼻科検診
- 4日(金) 租税教室(6年生)
- 7日(月) 集金日(～10日)
- 8日(火) よい歯教室(低)
緑の少年団活動2(メヒルギ播種)
- 10日(木) 特別支援教育校内委員会・硬筆教室
- 11日(金) 水泳学習1
- 12日(土) 土曜授業
授業参観 9:20～10:05
愛校作業 10:20～11:05
3年生PTAレクリエーション(午後)
- 15日(火) クラブ1・水泳学習2
児童対象教育相談(～18日)
- 16日(水) 第1回村小学校集合学習(田検小)
第1回家庭学習強調習慣(～24日)
- 17日(木) 家庭教育学級2「ヨガ」19:00～20:30
- 20日(日) 家庭の日・ウヤフジ感謝の日
- 22日(火) 水泳学習3・クラブ2
- 23日(水) よい歯教室(高)
- 24日(木) 硬筆教室
- 25日(金) 代表委員会(放課後)
- 29日(火) 中学校道徳教育研修会の為4校時まで
- 30日(水) 水泳学習4



ハンセン病問題を正しく理解する週間

鹿児島県では、ハンセン病問題に対する正しい知識の普及啓発、偏見・差別の解消に努めるとともに、これらの方々の名誉の回復を図ることを目的に、平成21年度から、厚生労働省が「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」として定めた6月22日を含む、日曜日から一週間を「ハンセン病問題を正しく理解する週間」と定めています。

ハンセン病問題を正しく理解し、療養所の入所者や社会復帰された方々が社会に温かく迎えられ、安心して生活することができるよう、差別や偏見のない社会づくりに努めましょう。

平成3年6月20日(日)～平成3年6月26日(土)

2年ぶりのカッター訓練



昭和59年5月の進水式以来、海洋型山坂達事業として38年の伝統を誇るカッター訓練。昨年度は新型コロナウイルス対策のため中止。2年ぶりの実施です。重くて長いオールを子ども二人で持って漕ぎ出します。実際の様子を動画をご覧ください。



※動画は1週間程度で公開終了します。



今年度は、石原博一さんと川畑敏夫さんに救助艇を、川畑亮さんと松枝孝一さんに救助員をお願いしました。船の準備から片付けまで、環境保体部の皆さんをはじめ、多くの方にご協力いただきました。有り難うございました。



緑の少年団活動スタート



5月25日、緑の少年団の活動がスタート。1回目は、5・6年生によるオキナワウラジロガシの植林。この木は、日本の固有種です。給食室横の空きスペースに3本植えました。来月は3・4年生によるメヒルギの種まきです。

地域の方々による見守り



5月14日、民生委員・児童委員の方々が、雨の中、立哨指導をしてくださいました。

校門に緑の球ネットを張りました



校門にネットを張りました。子どもが使うボールが道路に転がることで起こりそうな事故を防ぐためのネットです。

学校だよりやブログなどは、スマホやパソコンをご利用いただくと、カラーでご覧いただけます。QRコードをご利用ください。



学校だより



ブログ



給食だより・献立カレンダー



保健だより